

前立腺癌の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための調査研究
「ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けた患者の排便状況の実態調査」
を実施しています。

前立腺癌と診断されロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けた患者さんが、術後に良好な排便コントロールを得るにはどのようにしたら良いかを明らかにし、術後の排便管理に役立てることを目的としています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、既往歴や術後の経過についての記録を集計させていただきます。

対象は、当院泌尿器科においてロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術をされた患者さんの一部の方です。

西暦2018年1月から西暦2019年12月までに、当院泌尿器科においてロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術をされた患者さんを対象としています。

お名前等の個人情報がでることは、一切ありません。

収集した資料は、個人を特定できないように処理しています。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の連絡先担当者にお問い合わせください。
なお、この研究全体の結果を、対象者個々にお伝えする予定はありません。

研究に診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。その場合は、西暦2020年10月31日までに、下記担当者にお申し出ください。

連絡先： 済生会横浜市東部病院泌尿器科・小林裕章

電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

研究責任者： 済生会横浜市東部病院 看護師 阪田智美

